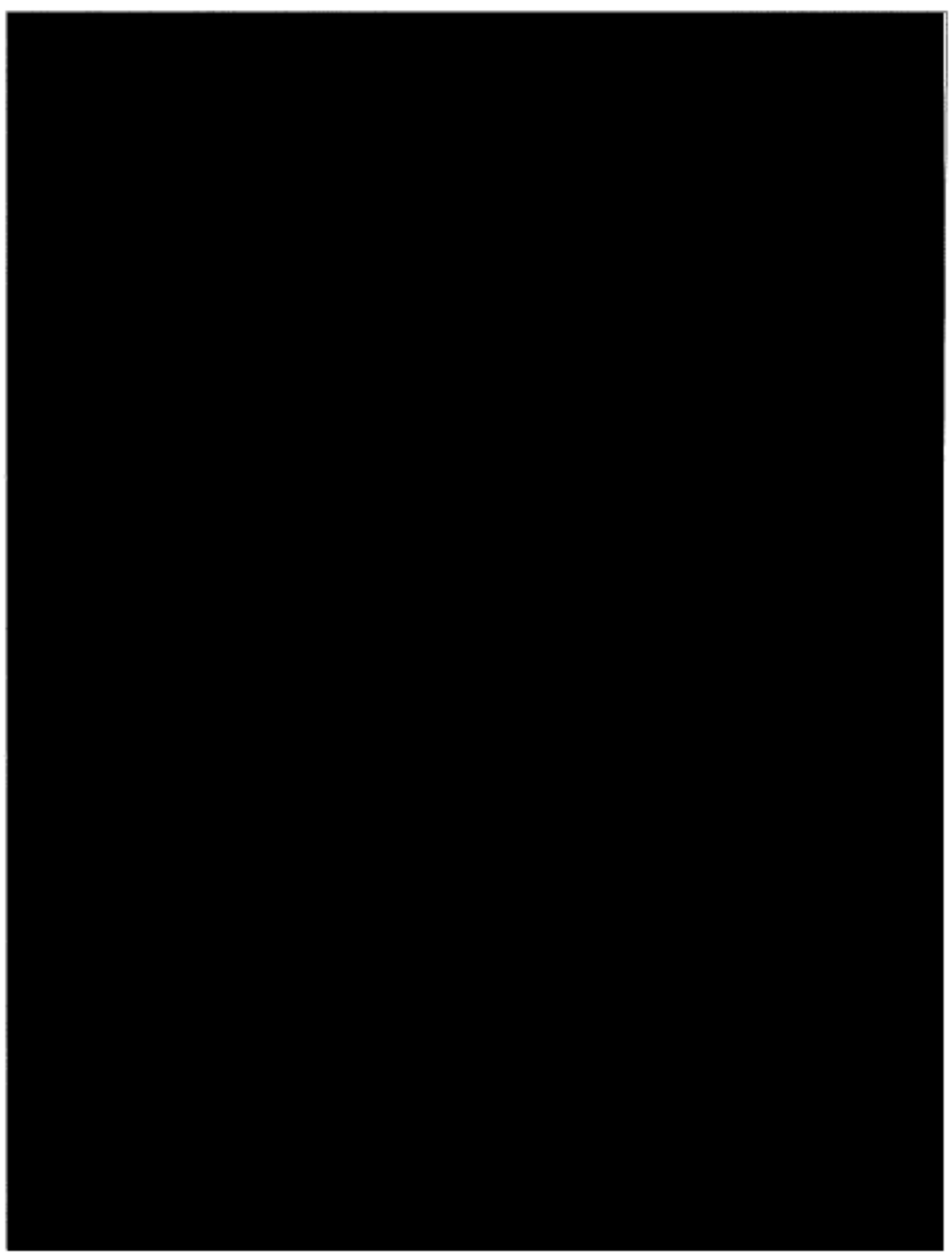


平成二十八年 度	国	組 (その二)	受験番号	氏名
----------	---	---------	------	----

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



1 線部(ア) (オ)の漢字はひらがなにおし、カタカナは漢字になおしなさい。

1	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
---	-----	-----	-----	-----	-----

2 空らんA・B・Cに当てはまる言葉を次から1つずつ選び、配得で答えなさい。

ア	三上くん	イ	少年	ウ	おばさん	エ	お母さん
2	A	イ	B	ウ	C	ア	

3 線部(イ)とあるが、それはなぜか、くわしく説明しなさい。

3	
---	--

4 線部(ウ)とあるが、どのようなことに気がついたのか、答えなさい。

4	
---	--

5 空らんD・Eに当てはまる言葉をそれぞれ十字以上で答えなさい。

5	D	E
---	---	---

6 線部(ウ)とあるが、このときの少年の気持ちをくわしく説明しなさい。

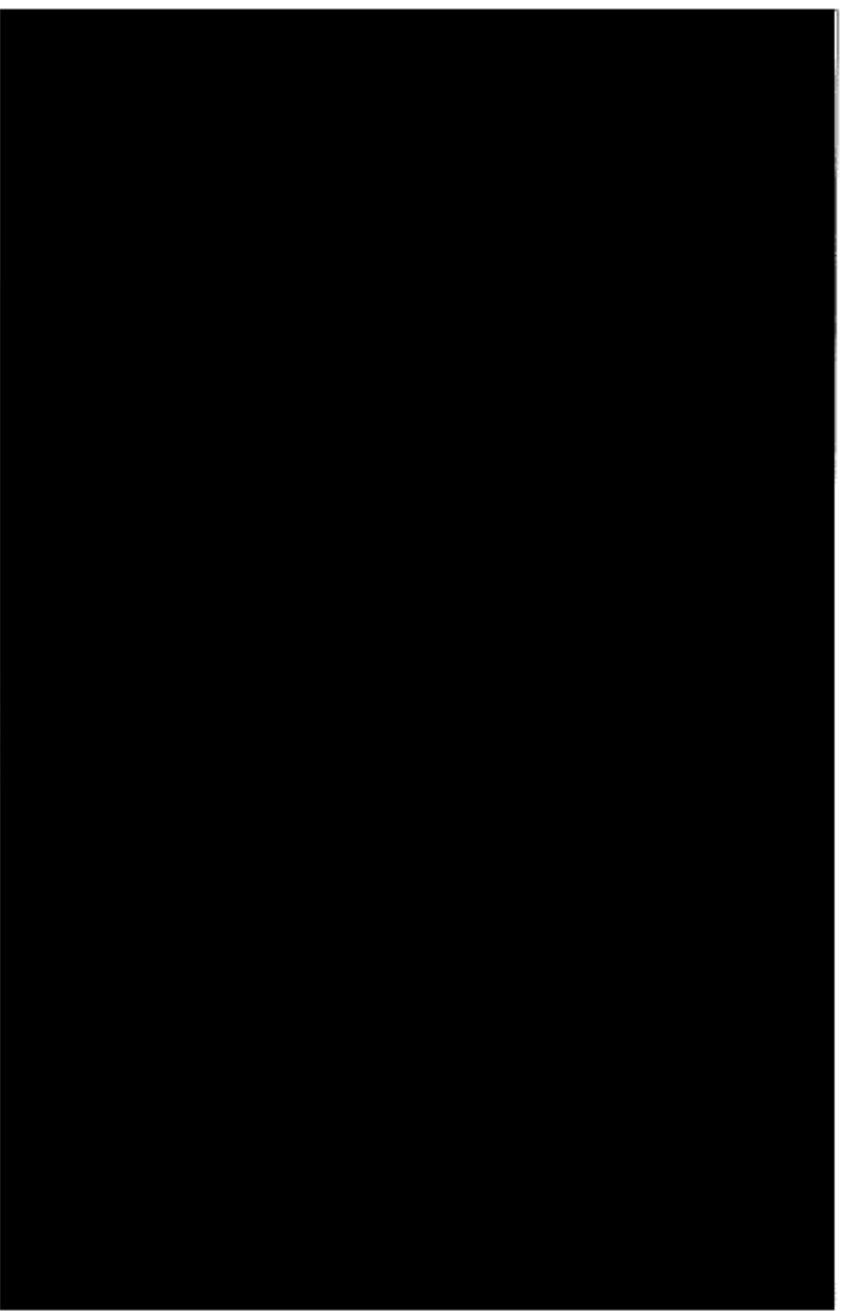
6	(ウ)
---	-----

7 この文章を二つに分けるとすれば、あなたはどこで分けるか、二つ目のはじめの文字をぬき出さない、また、そこで分けたのはなぜか、二十字以上、二十五字以内(句読点もふくむ)で説明しなさい。

※複数回答可(理由七) B点(二つ目のはじめ2点 分けた理由6点)  
 (例) 正午を回った(時間の变化) いっしょんふわ(心持の変化 期待)がっかり

7	理由
---	----

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



1 線部(ア)～(オ)の漢字はひらがなになおし、カタカナは漢字になおしなさい。

1	(ア)	■	(イ)	■	(ウ)	■	(エ)	■	(オ)	■
---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

2 空らんA・B・Cに当てはまる言葉を次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア	つまり	イ	すまじ	ウ	しかし	エ	まて	オ	あるいは
2	A	ウ	B	ア	C	オ			

3 線部① 〃とは、どのような助詞か。本文中から一十五字(句読点もふくむ)で採り、はじめの五字をぬき出しなさい。

3	〃	3	〃
---	---	---	---

4 空らんDに当てはまる言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア	結果の予断	イ	疑問の追求	ウ	自然の観察	エ	人間の願望
4	■	■	■	■	■	■	■

5 この文章から読み取れる筆者の考えについて、最もふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 身近な疑問を一つずつ解決していくと、いつかはかならずだれもが納得する説明ができるようになる。  
 イ 実際にあるものから未来を予測することで法則が見出せ、いろいろなものに応用できるようになる。  
 ウ 「鳥はどうして飛べるのか」という根本的な疑問を追究していくことで、法則性を見出すことができるようになる。  
 エ 実際にあるものの仕組みを理解していくと、新たな疑問が生じてさらに理解を深めることができるようになる。

5	■	■	■	■	■	■	■
---	---	---	---	---	---	---	---

6 次の慣用語やことわざの意味をそれぞれ答えなさい。

1	油を売る	1	時間とむだにする。一さぼる。	3	気が置けない
2	作れば都	2	住めばそこがいちばんよい。	4	かっぱの川流れ
				3	気象につきあえる。
				4	進人も油断すると失敗する。

7 故事成語についての問いに答えなさい。

1 次の文を参考に、「蛇足」という故事成語の意味を答えなさい。  
わたしは友達におすすめの本を紹介した時、最後にその本の欠点を伝えたのは蛇足でした。

1	余計なこと。(むだなこと)。
---	----------------

2 「五十歩百歩」は「両者の差はほとんどない」という意味の故事成語である。「五十歩百歩」を使った一文を作りなさい。ただし、主語・述語とあなたの具体的な体験をふくめること。

2	〃
---	---